

編集 後記

2026年 7 月から 8 月にかけて、令和 8 年熊本地震、令和 8 年 8 月千葉豪雨と大きな災害が立て続けに発生しました。被災された方々へのお見舞いととも、支援活動に従事する保健・医療・福祉関係の皆様への敬意を表したいと思います。災害は形や規模を変えながら繰り返すことを思い知らされ、平時からの備えと知恵の結集の重要性を改めて認識しました。本誌が積み重ねてきた、過去の健康危機事例から得た貴重な知見がその一助となることもあるでしょう。

73巻 9 号には論壇、原著論文、公衆衛生活動報告 2 報、資料 2 報の計 6 報が掲載されています。

学会が多く開催される季節を迎え、まずご紹介するのは、2024年度の第83回公衆衛生学会総会中の育児支援に関する公衆衛生活動報告です。この総会では、託児所の開設に加え、子ども同伴での参加を公式に認める育児支援が実施されました。本稿は、育児中の参加者が求める支援を示すとともに、学会としての支援のあり方を提案しています。その一つとして、子連れ参加を歓迎する雰囲気づくりが挙げられていることは、今後、学会の企画に関与する読者がふまえておくべきと考えられます。

論壇は、高齢者の就労的活動の概念について、学際的な検討会での議論の過程に沿って整理したもので、非雇用型有償活動が重要である可能性が明らかとなりました。また、就労的活動を支援する際の、個の尊重などの方向性も示されています。広範な議論にもかかわらず、著者の提言はまとまりを見せており、検討会において高齢者の健康や福祉が一貫して主眼におかれていたためではないかと推察しました。

原著論文は、長期ホームレス生活を経て住まいを得た経験に焦点をあてた質的研究に関するものです。ホームレスから住まいのある状態へ移行することは、支援の成果として認識されてきました。しかし本研究は、住まいを得る際は社会や他者との関係性の変容が生じ、当事者にとって困難を伴う可能性があることを明らかにし、支援への新たな示唆を示しました。

もう 1 編の公衆衛生活動報告では、生活保護受給者の健康情報の利活用への福祉事務所での取り組みが紹介されています。生活保護受給者の健康実態の把握には、他部署が保有する健康情報も活用する必要性は自明である一方、実現は容易ではない背景が詳細に説明されています。行政組織内で説明や議論を重ねデータを入手した経緯や、データの統合を達成した工夫については、他の自治体でも大いに参考になると考えられます。

資料の 1 編目は、行政機関の庁舎に設置される喫煙所を検証したものです。本稿は客観的な調査結果に基づく資料ではありますが、考察においては行政がなすべき喫煙対策やたばこ事業者との関係のあり方が揺らぎない

次号予告（第73巻・第10号）**原 著**

新型コロナウイルス感染症の罹患後症状がその後の社会経済状況へ及ぼす影響：大阪府八尾市在住成人における前向きコホート研究

……………堀 幸，他
中山間地域における成人の世代内・世代間交流と精神的健康状態との関連：若年層に焦点を当てた分析……………黒澤恭子，他

公衆衛生活動報告

SMS による健診受診勧奨の効果検証：若い世代への効果に注目して……………苗村直美，他

資 料

過去の国内事例から考えるレジオネラ症集団感染への対応と対策……………坂田裕介，他
就業経験を有する新人保健師のキャリア発達に関連する人材育成体制と家庭訪問到達度：2023，2024年度採用者の全国調査……………平野美千代，他
全国医科大学・医学部における公衆衛生・衛生学の講義と実習，臨床研修後の進路と公衆衛生への関心：講座と医学生調査からの分析

……………野村恭子，他

特別報告

医療従事者のメンタルヘルスの概要：コロナ流行期およびポスト・コロナ期における災害産業衛生の視点より……………吉益光一，他

姿勢で提言されています。庁舎に喫煙所が存在することは、公衆衛生行政関係者にとって自らの立場と矛盾する現実と言えます。著者全員が自治体に所属し、このような現実を目の当たりにしていることが研究の動機となったことがうかがわれます。

資料の 2 編目では、水タバコを提供する店舗における空気環境の評価をもとに、必要な対策が提案されています。水タバコに関する知識は公衆衛生関係者でも乏しいかもしれませんが、本稿を通して基本的情報を得ることができます。健康リスクの低減のためには、環境測定、情報提供、法整備など公衆衛生的なアプローチが必要とされ、これまでのタバコ対策等で得られた知見の応用が有効な可能性があります。

編集委員会では、本誌の特色である公衆衛生活動報告の投稿推進についてしばしば意見交換を行い、総会での投稿推薦にも力を入れています。本号で 2 報の公衆衛生活動報告が掲載されたことは大変喜ばしく、今後もこの傾向が続くことを願っています。

(定金敦子)